

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

「1mmの努力」

連日暑い日が続き、学校の周りでも元気な蝉の声が聞こえてきます。いよいよ夏本番の到来です。そんな中、今日で1学期が終わります。1学期は大きな行事として中等祭があり、今年初めて二日連続で文化祭と体育祭を開催しました。体育祭はあいにくの天候で、午後に簡易版で行いましたが皆さんの頑張りで大きな成果を上げることができました。

明日から、夏休みに入りますが、セミナー等で多くの生徒が登校します。中々、休み気分にはならないと思いますが、時間を有効に使い、充実した生活を送ってください。特に今年は、8月5日(金)午後6時[日本時間6日(土)午前6時]にリオデジャネイロオリンピックが開幕します。楽しみですね。約2週間、世界のトップアスリートたちが多くの感動を与えてくれるでしょう。生放送を見るために、深夜にテレビの前で一喜一憂する人も多いと思いますが、くれぐれも生活リズムを崩さないようにしてください。

今回のリオ五輪で、シンクロナイズドスイミング日本代表「マーメイドジャパン」のヘッドコーチに井村雅代監督が戻ってきました。井村さんは「シンクロ界の母」と呼ばれる指導者でシンクロがオリンピックの正式種目になった1984年のロサンゼルス五輪から2012年のロンドン五輪まで、日本代表ヘッドコーチとして6回、中国代表ヘッドコーチとして2回、連続8回メダル獲得という輝かしい成績を挙げてきた指導者です。講演活動の中で様々なメッセージを送っておられます。その一つが、次のエピソードです。

井村さんは、数多くの教え子の中に、2002年のアテネ五輪でシンクロデュオで銀メダルを取った立花・武田選手がいます。デュオで大事なことは、息が合い、動きがズレず、同じように見えることです。

しかし、立花選手は身長170cm、武田選手は165cm。5cmの身長差がある二人ですが、特にジャンプに差があることに違和感を覚えた井村コーチは、武田選手に課題を与えました。「あと5cm高く飛べるか？」と言うと、「無理です…できません」という言葉が返ってきたそうです。でも、あと5cm高く飛べないと綺麗には見えません。そこで、井村コーチは「明日、あと1mm高く飛べるか？」と聞くと、「頑張ってみます」と答え、次の日1mm高く飛べたそうです。次の日も、「もう1mmだけ高く飛べるか？」と言うと、昨日1mm飛べたという自信がついた彼女は「頑張ります」と答え、また1mm高く飛べました。それを10日やったら1cm高くなり、時間をかけ最終的に目標の5cmまで到達したそうです。

毎日毎日、少し進んでそれを自分のものにする。この**1mmの積み重ねが大切**です。今日より明日、自分のできそうなことをやっていくことが良い成績につながっていくものです。この夏休み、毎日「**1mmの努力**」を続けることを願っています。

一方、反対の意味で、「**1mmの損失**」という言葉があります。夏休みに入ると、「朝もつと寝ていたいなあ」「今日一日くらい計画通りにやらなかった」と思ったりします。これが、**1mmの損失**です。これも積み重なると大きな量になります。**1mmの損失をしないように、自分の気持ちの持ち方で弱い自分にストップ**をかけて欲しいと思います。

夏休みにすべての教室に電子黒板が設置されます。東館は可動式の電子黒板、北館は電子黒板機能搭載のプロジェクターになります。それに伴い北館各教室の黒板がホワイトボードに変わります。そして、並行して校内の無線LANの工事を行い、一気にICT環境が整備されます。2学期からは、ICT機器を使った授業が可能になります。

ICT環境の整備
ご期待ください